

# みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰 令和5年度 受賞施設



Minato Model Carbon Dioxide Fixation Certification Award 2023

## みなとモデル二酸化炭素固定認証制度 とは

- ▶ みなとモデル二酸化炭素固定認証制度は、区内で新たに建てられる建築物（延べ面積5,000㎡未満は任意）や、オフィス、店舗等のテナントについて、床面積1㎡につき、0.001㎡以上の協定木材をはじめとする国産木材の使用を促し、国産木材の使用量に応じて★、★★、★★★の3段階の二酸化炭素固定量の認証を行う制度です。
- ▶ 本制度では、区と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結した森林資源を豊富に有する自治体（以下「協定自治体」といいます。令和6年3月22日現在 85自治体）から産出される「協定木材」の使用を推奨しています。
- ▶ 都心に位置する港区で建てられる建築物等に持続可能な森林で伐採された木材の利用を促進することで、区内の二酸化炭素固定量を増やすとともに、森林整備の促進による二酸化炭素吸収量の増加を図り、脱炭素社会の実現に貢献することを目的としています。



### みなと森と水ネットワーク会議

「みなと森と水ネットワーク会議」は協定自治体で構成した連携組織で、英語名「UNIFIED NETWORKING INITIATIVE FOR MINATO "MORI&MIZU" MEETING」の頭文字をとった、「uni4m（ユニフォーム）」が愛称です。



期 間 H23.10.1.~R5.3.31	木材使用量の基準値			認 証 件 数
	基準値 ★ 認証書の発行 床面積 1㎡につき0.001㎡	アップグレード値① ★★ 認証書を発行 床面積 1㎡につき0.005㎡	アップグレード値② ★★★ 認証書を発行 床面積 1㎡につき0.010㎡	
民間建築物 他	196	16	6	218
区有建築物	0	15	16	31
認証建築物 累計	196	31	22	249
テナント認証 累計	9	6	12	27

# みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰とは

港区では、平成23年10月に「建築主におけるみなとモデル二酸化炭素固定認証制度」、平成25年9月に「テナント事業者におけるみなとモデル二酸化炭素固定認証制度」（以下、両制度をまとめて「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」といいます。）を施行し、協定木材をはじめとする国産木材（以下「協定木材等」といいます。）の建築物等への使用を推進してきました。

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の施行から10年が経過し、協定木材等の更なる活用、国内の森林整備及び森林の二酸化炭素の吸収量の増大の一層の促進に資することを目的として、令和4年4月に「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰」を創設しました。

**表彰対象** 前年度に認証した民間建築物及びテナント店舗等（以降、「建築物等」といいます。）

**審査・選定基準** みなと森と水ネットワーク会議会員である協定自治体が下記の選定基準に基づいて投票し、投票結果を受けて港区が受賞施設を決定します。

- ① 木材の使用方法が公開性や視認性、デザイン性に優れ、創意工夫が見られること。
- ② 先進的な技術を利用して木材を使用していること。
- ③ 木材の活用に先導的な役割を果たしていること。
- ④ 協定木材等の利用に積極的に取り組んでいること。

**表彰の種類** 最優秀賞、優秀賞、奨励賞、特別賞、テナント店舗特別賞

## 4. 協定自治体による投票

※各自治体は、当該自治体内で産出された木材が利用された施設には投票不可

1. 認証施設情報の収集
2. 木材資料量等の点数化
3. 協定自治体への情報提供

5. 投票結果を受けて受賞施設を決定  
(令和5年度は令和4年4月1日から令和5年3月31日の間に認証した民間建築物等の中から7施設が受賞施設に決定)

協定自治体

## みなとモデル二酸化炭素固定認証制度年表

年	月	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度に関連したできごとなど	協定自治体数 (※2)
2007年 (H19)	11	第1回みなと森と水会議	
2009年 (H21)	1	第2回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2009	8
	10	みなと森と水ネットワーク会議発足	15
	12	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度検討開始	
2010年 (H22)	2	第3回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2010	15
	10	「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」施行	
2011年 (H23)	2	第4回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2011	23
	10	<b>「建築主におけるみなとモデル二酸化炭素固定認証制度」開始</b>	32
2012年 (H24)	2	第5回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2012	47
	4	「港区建築物等における協定木材等利用推進方針」策定	
	10	第6回みなと森と水会議	63
2013年 (H25)	8	<b>「テナント事業者におけるみなとモデル二酸化炭素固定認証制度」開始</b>	
	11	第7回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2013	69
2014年 (H26)	10	第8回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2014	76
2015年 (H27)	12	第9回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2015	75
2016年 (H28)	11	第10回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2016	78

※1 認証書の発行日を基準として掲載しています。 ※2 協定自治体数に港区は含んでいません。

年	月	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度に関連したできごとなど	協定自治体数
2017年 (H29)	10	第1回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2017	77
2018年 (H30)	4	<b>港区テナント店舗等の木質化モデル創出事業（助成金交付事業）開始</b>	
	11	第2回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2018	76
2019年 (H31)	11	第3回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2019	78
2020年 (R2)	4	「港区建築物等における協定木材等利用推進方針」改定	
	10	第4回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2020	82
	12	みなと森と水ネットワーク会議が「ウッドデザイン賞」を受賞	
2021年 (R3)	3	みなと森と水ネットワーク会議が「ウッド・チェンジネットワーク」にオブザーバー会員として参加	
	9	みなと森と水ネットワーク会議が「ウッド・チェンジ協議会」へ参加	
	10	「公共建築物等の木材利用促進法」が「都市（まち）の木造化推進法」へ改正 第5回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2021 みなとモデル二酸化炭素固定認証制度施行から10年が経過	81
2022年 (R4)	4	<b>みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰要綱の制定</b>	
	10	第6回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2022 令和4年度みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰式（第1回）	80
2023年 (R5)	3	「港区建築物等における協定木材等利用推進方針」改定	
	10	第7回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2023 令和5年度みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰式（第2回）	84

# 受賞施設

## 最優秀賞<1件>

1. ジューテック本社ビル ..... P.7



## 優秀賞 <2件>

2. 白金ザ・スカイ ..... P.8

3. 聖徳大学幼児教育専門学校  
・聖徳大学三田幼稚園 ..... P.9



## 奨励賞 <2件>

4. 3rd MINAMI AOYAMA ..... P.10

5. プラウドタワー 芝浦 ..... P.11



## 特別賞<1件>

6. 住友不動産 東京三田ガーデンタワー..... P.12



## テナント店舗特別賞<1件>

7. 芝四季亭 ..... P.13



# ジューテック本社ビル



建築主：株式会社ジューテック

設計：鹿島建設株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所
- ◆ 所在地：港区新橋六丁目3番4号
- ◆ 延床面積：4,877.87 m<sup>2</sup>
- ◆ 国産木材総使用量：207.33 m<sup>3</sup>
- ◆ うち協定木材使用量：38.01 m<sup>3</sup>
- ◆ 1m<sup>2</sup>あたりの木材使用量：0.0425 m<sup>3</sup> (★★★)
- ◆ CO2固定量：126.80 t-CO<sub>2</sub>
- ◆ 樹種/産地  
天井材(スギ 12.32/国産合法木材)  
柱(スギ 14.69/宍粟市) / 柱(スギ 8.26/鹿沼市)  
柱(スギ 66.59/国産合法木材)  
梁(カラマツ 45.18/国産合法木材)  
梁(スギ 38.76/国産合法木材)  
梁(スギ 3.31/宍粟市) / 梁(スギ 1.86/鹿沼市)  
CLT底(スギ 1.68/国産合法木材)  
柱・壁仕上げ(スギ 2.99/国産合法木材)  
CLT底(スギ 0.33/国産合法木材)  
CLT底(スギ 4.77/真庭市)  
天井材(スギ 3.50/坂井市)  
造作部材(スギ 1.21/国産合法木材)  
ウッドデッキ(スギ 0.79/あわら市)  
ウッドデッキ(スギ 0.79/坂井市)  
造作部材(スギ 0.01/鹿沼市)  
造作部材(スギ 0.24/国産合法木材)



## 【審査コメント】

- ・デザイン性もよく、内装材に木材をふんだんに使用しており、また構造部材に耐火集成材を積極的に取り入れている。
- ・木板を魅せる天井や木造をアピールする夜景景観の創造を行い、視認性・公開性・創意工夫・デザイン全てにおいて優秀だと思います。



## 【建築主等コメント】

- ・新橋発祥地元企業の本社として、良質な街並形成に貢献する建築の在り方を追究し、純木質耐火集成材「FRウッド」を多層型建築の主要構造部に初めて適用しました。
- ・新橋赤レンガ通りに面して多様な活動を促す「コミュニケーションハブ」(木造)を配しました。



# 白金ザ・スカイ



## 【建築主等コメント】

- ・第一種市街地再開発事業による共同住宅・店舗・工場・病院等の複合施設です。
- 地下1階・地上45階で延床面積は約135,000㎡、高さ約156mの大規模建物です。
- 計画戸数が1247戸で住宅中心プロジェクトとなっているため、住戸専有部をはじめ、共用部にも相当量の協定木材を使用しています。

建築主：白金一丁目東部北地区市街地再開発組合

設計：株式会社梓設計

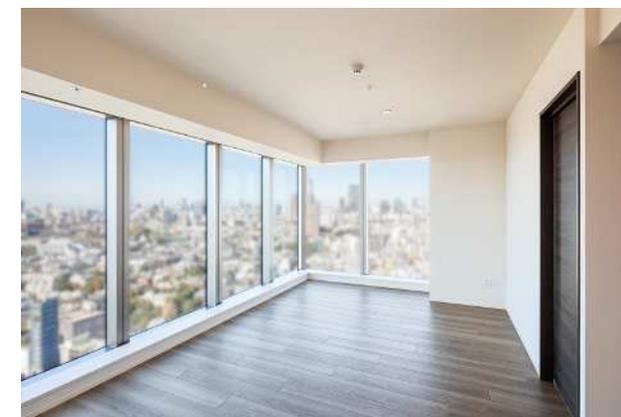
<建物概要>

- ◆ 建物用途：共同住宅、保育所、病院、工場、店舗等、事務所、自動車庫、自転車駐車場
- ◆ 所在地：港区白金一丁目2番1号他
- ◆ 延べ床面積：134,997.82 m<sup>2</sup>
- ◆ 国産木材総使用量：187.66 m<sup>3</sup>
- ◆ うち協定木材使用量：187.66 m<sup>3</sup>
- ◆ 1m<sup>2</sup>あたりの木材使用量：0.0013 m<sup>3</sup> (★)
- ◆ CO2固定量：108.03 t-CO<sub>2</sub>
- ◆ 樹種/産地  
床下地合板(スギ/石巻市)



## 【審査コメント】

- ・木材使用量が多く利用されているだけでなく、使用した木材全てが協定木材を利用しており、本制度の目的に合致している。
- ・協定木材の使用量が高く二酸化炭素固定量が高いのも評価できる。



# 聖徳大学幼児教育専門学校・聖徳大学三田幼稚園



建築主：学校法人東京聖徳学園  
設計：株式会社石本建築事務所  
<建物概要>

- ◆ 建物用途：幼稚園 専修学校 自動車庫
- ◆ 所在地：港区三田三丁目4番28号
- ◆ 延べ床面積：7,274.94 m<sup>2</sup>
- ◆ 国産木材総使用量：19.97 m<sup>3</sup>
- ◆ うち協定木材使用量：10.79 m<sup>3</sup>
- ◆ 1m<sup>2</sup>あたりの木材使用量：0.0027 m<sup>3</sup> (★)
- ◆ CO<sub>2</sub>固定量：12.64 t-CO<sub>2</sub>
- ◆ 樹種/産地  
床下地合板(スギ 5.25/石巻市)  
床下地合板(スギ 1.08/国産合法木材)  
ウッドデッキ(スギ 2.77/あわら市)  
ウッドデッキ(スギ 2.77/坂井市)  
天井ルーバー(スギ 1.60/国産合法木材)  
建具(ヒバ 3.88/国産合法木材)  
置き家具(ヒノキ 2.62/国産合法木材)

## 【審査コメント】

・人目に触れやすい内装や屋外のウッドデッキへの積極的な木材利用がみられる。木材利用を軸に専門学校の洗練されたデザインや幼稚園の親しみやすい空間設計が行われており、木材の多様な魅力を楽しめる空間となっている。



## 【建築主等コメント】

- ・学園創立の地において歴史を継承する新たな学びの場として、既存校舎に設置されていた壁画やモニュメント・植栽、学園伝統のレンガタイルの移設等を行いました。
- ・内装には協定木材や自然素材を多く使い、園児や幼児教育を学ぶ学生の五感を育む学習環境を作り、木材が作り出す落ち着いた雰囲気の中で多くの学生が勉学できること、園児が木材を通して自然と身近に触れ合うことが出来るようにいたしました。



# 3rd MINAMI AOYAMA



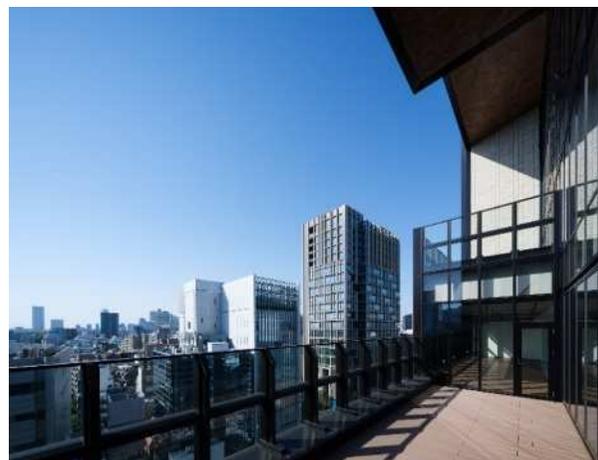
▲ (写真) 西川公朗

建築主：有限会社五光・三菱地所株式会社

設計：株式会社三菱地所設計

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所、物販店舗、飲食店舗、自動車車庫等
- ◆ 所在地：港区南青山三丁目1番34号
- ◆ 延べ床面積：14,739.11 m<sup>2</sup>
- ◆ 国産木材総使用量：16.44 m<sup>3</sup>
- ◆ うち協定木材使用量：12.66 m<sup>3</sup>
- ◆ 1m<sup>2</sup>あたりの木材使用量：0.0011 m<sup>3</sup> (★)
- ◆ CO2固定量：9.47 t-CO<sub>2</sub>
- ◆ 樹種/産地  
OAフロア(スギ 3.78/国産合法木材)  
ウッドデッキ(スギ 12.66/日南市)



## 【審査コメント】

- ・各階のバルコニーに協定木材を使用したデッキを配置したことで職場環境の向上が見込まれるものとなっており、ワークスペースについてもOAフロア基材として木材を使用するなど工夫がみられる。
- ・OAフロア機材として通常木材が使用されない箇所への木材使用など工夫が見られる。



## 【建築主等コメント】

- ・従来のワークスペースの余白空間として機能するバルコニー付きテナントオフィスビル。
- ・本計画の肝となる各階のバルコニーおよびルーフトップテラスに、日南市産の協定木材である再生木デッキを使用し、従来のワークスペースの余白空間として、ワーカーがバルコニーに出てみたくなるよう、温かみのある色味のデッキを選定しました。またバルコニーの居心地をより良くすべく、表面温度上昇を抑制する遮熱性能と静電気の発生を抑える非帯電性能を有する製品を選定しました。

# プラウドタワー芝浦



建築主：野村不動産株式会社

設計：株式会社 竹中工務店

<建物概要>

- ◆ 建物用途：共同住宅、保育所
- ◆ 所在地：港区芝浦四丁目15番1号
- ◆ 延べ床面積：43,283.07 m<sup>2</sup>
- ◆ 国産木材総使用量：90.37 m<sup>3</sup>
- ◆ うち協定木材使用量：90.37 m<sup>3</sup>
- ◆ 1m<sup>2</sup>あたりの木材使用量：0.0020 m<sup>3</sup> (★)
- ◆ CO<sub>2</sub>固定量：52.02 t-CO<sub>2</sub>
- ◆ 樹種/産地  
床下地合板(スギ/石巻市)



## 【建築主等コメント】

- ・緑が少ない環境に対して、サステナブルな緑地の創造を心がけました。道路から十分引いて建物を配置し、緑豊かな庭を創出し、これを地域住民の憩いの場として公開しました。建物は、低層部に木調、木材を採用し、庭と呼応させ、また、上層部はコーナーガラスにより空に溶け込むデザインとして緑地主体のやさしい景観を構成しました。

# 住友不動産 東京三田ガーデンタワー



建築主：三田三・四丁目地区市街地再開発事業組合

設計：株式会社 久米設計

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所、飲食店、物販店舗、サービス店舗、診療所、集会場、自動車車庫
- ◆ 所在地：港区三田三丁目5番19号
- ◆ 延べ床面積：199,709.90 m<sup>2</sup>
- ◆ 国産木材総使用量：209.04 m<sup>3</sup>
- ◆ うち協定木材使用量：0 m<sup>3</sup>
- ◆ 1m<sup>2</sup>あたりの木材使用量：0.0010 m<sup>3</sup> (★)
- ◆ CO<sub>2</sub>固定量：120.34 t-CO<sub>2</sub>
- ◆ 樹種/産地  
OAフロア端部(スギ/国産合法木材)

## 【審査コメント】

- ・多くの協定木材を使用しており、人目につく共用ラウンジへの木材利用を意識する等、みなとモデルの発信に貢献するものと考えられる。



## 【建築主等コメント】

- ・ビル内装へ木材を使用するだけでなく、テナント企業及び来館者の交流拠点となる共用ラウンジへ、無機質ではない、国産材を使った家具を配し、温かみのある空間を創出することにより、テナント満足度向上と環境意識の啓発に繋げる計画としています。
- ・このほか、OAフロア基材のパーティクル材などに協定木材を使用したほか、什器にも多くの協定木材(※)を使用しました。  
※「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度対応製品」ではないが、港区と協定を締結している浜松市の木材・意匠としてではなく、多くの利用者が訪れ、木材の温かみに触れる場所への木材利用を意識しました。



# 芝四季亭



建築主：カサイホールディングス株式会社

設計：清水建設株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：飲食店舗
- ◆ 所在地：港区浜松町二丁目10番6号
- ◆ 対象床面積：156.00 m<sup>2</sup>
- ◆ 国産木材総使用量：2.13 m<sup>3</sup>
- ◆ うち協定木材使用量：2.13 m<sup>3</sup>
- ◆ 1m<sup>2</sup>あたりの木材使用量：0.0136 m<sup>3</sup>(★★★★)
- ◆ CO<sub>2</sub>固定量：1.23 t-CO<sub>2</sub>
- ◆ 樹種/産地  
フローリング 縁甲板(スギ 0.05/日光市)  
外装 軒裏(スギ 0.43/吉野町)  
外装 大和張り(スギ 0.29/吉野町)  
外構 大和塀(スギ 0.39/吉野町)  
外装 垂木(スギ 0.11/吉野町)  
外装 隅木(スギ 0.01/吉野町)  
外装 付柱(スギ 0.49/吉野町)  
外装 付桁(スギ 0.34/吉野町)



【審査コメント】

- ・数寄屋造りがユニークで、デザイン性が高く目を引く。靴を脱いで触れる部分に協定杉が使われ、木の暖かみを感じられる工夫がされている。
- ・日本の伝統的な木材利用を象徴する空間として、量・質ともに非常に高いレベルでの木材利用が実現されている。外装・内装ともに木材がふんだんに利用されており、通行人、客の双方に木材の魅力をPRしている。

## 【建築主等、計画でのポイント】

- ・日本の伝統建築技法である数寄屋造りを用いた店舗です。外装・内装ともに天然の木材を使うことにこだわりました。
- ・外装各所に協定木材である吉野の杉を使用しています。建物立面の四面全てにまんべんなく木を使用しており、建物利用者以外の、周辺を歩いている方々にも伝統建築の数寄屋造りを見て頂ける建物です。
- ・設計・施工者のこだわりが随所に反映できるよう、木材選定にもとことんこだわっていただき、関わった皆が誇れる場所となるよう取り組みました。



# 受賞施設分布図

※地域名称は一部省略しております。また、施設の位置は港区内におけるおおよその位置関係を示すものになります。



# 港区テナント事業者におけるみなとモデル二酸化炭素固定認証制度

オフィス、店舗等のテナント事業者の皆さんが、内装や外装に木材を使用したり、木製家具を購入して使用する場合、その木材使用量に相当する二酸化炭素固定量を区が認証し、認証書を交付します。

**対象者** 港区内の事務所、店舗等のテナント事業者

**対象となる木材と使用方法** 協定木材または国産合法木材を使用した内外装材、家具等

**木材使用量【基準値】** 床面積1㎡につき0.001㎡を超える量の協定木材等を使用してください。

**認証の申請方法** 内外装工事又は家具の納入から6ヵ月以内に申請してください。

## 手続きフロー

段階	手続き	提出書類
木材使用または木製家具の納入から6ヵ月以内	申請書の提出 ▼	<ul style="list-style-type: none"> <li>■二酸化炭素固定量認証書交付申請書</li> <li>■国産木材使用数量・二酸化炭素固定量調書（テナント事業者用）</li> </ul>
		<table border="1"> <tr> <td> <b>【内外装材の場合】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■木材使用箇所を色付けした 図面+平面図</li> <li>■対象木材の納品書（写し）</li> <li>■施工写真（写真がない場合は相談ください）</li> </ul> </td> <td> <b>【家具の場合】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■納品書（写し）</li> <li>■既製品の場合 製品カタログ・パンフレット（該当部写し）</li> <li>■特注品の場合 寸法の分かる絵図面</li> </ul> </td> </tr> </table>
<b>【内外装材の場合】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■木材使用箇所を色付けした 図面+平面図</li> <li>■対象木材の納品書（写し）</li> <li>■施工写真（写真がない場合は相談ください）</li> </ul>	<b>【家具の場合】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■納品書（写し）</li> <li>■既製品の場合 製品カタログ・パンフレット（該当部写し）</li> <li>■特注品の場合 寸法の分かる絵図面</li> </ul>	
審査～認証	書類審査・現地確認 ▼ 認証書の交付	

※協定木材を目に見える場所に使用した際の経費を助成しております。詳細は以下の連絡先までお問い合わせください。

港区 環境リサイクル支援部 環境課 地球温暖化対策担当 Tel：03-3578-2474



**みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰**

**港区 環境リサイクル支援部 環境課 地球温暖化対策担当**

**港区芝公園1-5-25 TEL : 03-3578-2474**

令和5年(2024年)3月発行  
発行番号 2023225-5611

[www.uni4m.or.jp](http://www.uni4m.or.jp)